

地域まちづくり協議会

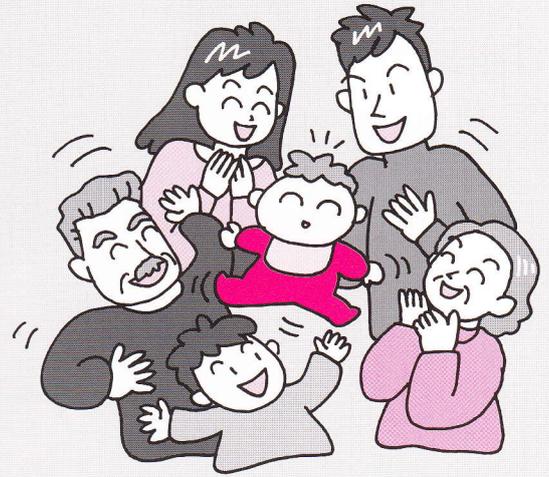
流山市

なぜ「地域まちづくり協議会」の考えが出てきたのですか。

少子高齢化や生活様式の多様化などの社会変化に伴い、地域の課題もいろいろなかたちで増えてきています。

例えば……

- 高齢者が住みやすいまち、そして若い世代が魅力を感じるまちに育てるにはどうしたらよいか。
- 子どもたちがのびのびと育つために、まちを安全にし、自然を取り戻すにはどうしたらよいか。
- 防犯パトロールや高齢者見守りなど、地域ごとに行われてきているこれまでの活動を広範囲につなげて、より充実したものにするにはどうしたらよいか。



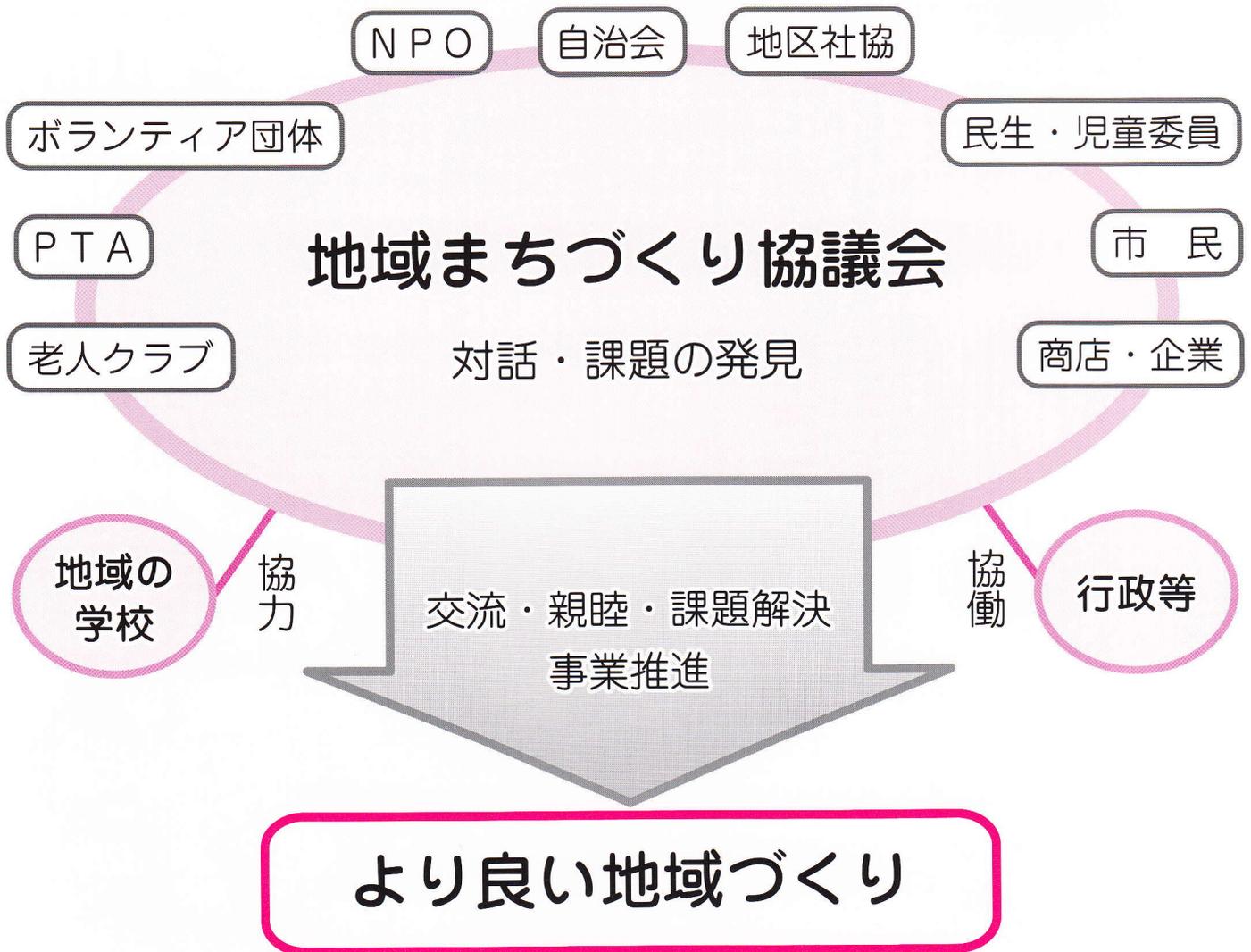
など、広い範囲の住民が手を結び、さまざまな経験や力を集めて解決しながら、行政とも協働して長期的に取り組まなければならない課題も出てきました。



市では、「流山市総合計画後期基本計画」の中で、新しいかたちのコミュニティ「**地域まちづくり協議会**」を、市民自治の流れにそった場づくりとして、平成31年度までに市内全小学校区で設立することを目指しています。

同じような「地域まちづくり協議会」の例は、市民自治推進の一環として、あるいは地域課題解決の手段として、福岡市や宝塚市、県内では香取市、佐倉市など、多くの市に見られます。

「地域まちづくり協議会」とはどのようなものですか。



同じ小学校区の団体や市民が自主的に参加して、地域の課題に取り組んでいく協議と活動の場です。

協議会の参加者は、対話をくりかえしながら、地域の課題を発見し解決に当たり、必要な場合は行政と協働します。

活動面では、参加者が単独では解決しにくい課題に対して、参加者同士がそれぞれの特性を活かして補い合います。

運営面では、情報の公開が徹底されていること、参加者同士がお互いの立場を尊重しながら意見交換や活動をするのが大切です。

今までコミュニティ活動などには縁遠かった人の参加も期待できます。

地域をおおむね小学校区としたのは、小学校の行事などでつながりがあり、日常生活の場も共有し、お互いに知り合いとなれる範囲（人口1万人程度）だからです。



「地域まちづくり協議会」が必要なケースをもう少し具体的に説明してください。

地域や状況によってさまざまですが、例えば次のようなケースが考えられます。



(1)通学路や遊び場の安全確保、災害に備えての体制づくりなど、これまでの自治会などの枠組みを超えた広い範囲の協力が必要なケース

例えば

子どもたちの通学路や遊び場は、学校友だちの住まい全域に広がります。その安全に目を光らせて子どもたちを見守るには、広い地域で連携することが必要です。

また、市が小学校区ごとに実施している防災訓練の成果を活かす受け皿としても有効です。

(2)高齢者サポートや子育て支援などに、自治会、地区社協、NPO、医療機関、あるいは各種専門家などが力を合わせれば、もっと効果的に対応できるケース

例えば

自治会や地区社協が行っている見守りやお年寄りのサポート活動に地域の連携やNPOの協力が加われば、高齢者が安心して暮せるまちづくりもさらに充実することになります。

また、子育て支援に地域が連携すれば、活動の幅も広がり、より子育てがしやすいまちとなります。

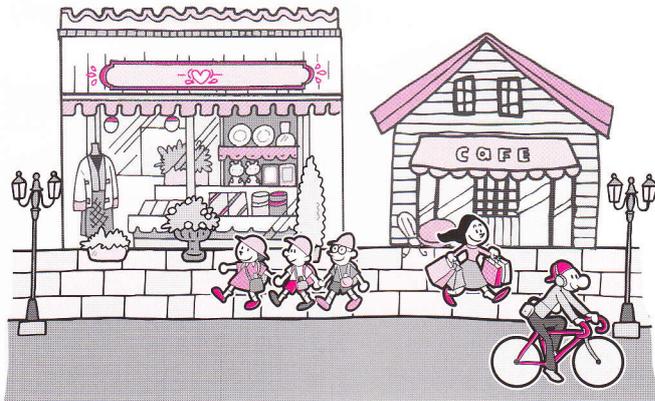


「地域まちづくり協議会」は、どのようにはじまりましたか。

平成23年度には、モデル地区として、流山小学校区と新川小学校区に協議会が設立されました。

流山小学校区では、自治会、連合会、菜の花協議会、NPOなどが協力し、流山小学校とも連携を取りながら、地域の資産である商店街、江戸川、流山電鉄、史跡、神社仏閣などを活かした催しに取り組むと共に、防犯・防災、健康維持、お祭りなど新しい企画づくりを進めています。

新川小学校区では、複数の自治会とNPOが市民有志と新川小学校の協力を得て、子どもたちに自然の豊かさを体験させる事業、通学路の安全を確保する活動、車と人が共生できる市道の実現を目指す活動などに取り組んでいます。



「地域まちづくり協議会」を設立するにはどうすればよいですか。

一つの小学校区内で、

- ①いろいろな会合や話し合いの場を通して、複数の団体や個人が地域の課題や地域発展のアイデアなどを共有した時
- ②必要とする活動や事業が具体的に話し合われた時
- ③「地域まちづくり協議会」設立が一つの方向とされた時

流山市市民生活部コミュニティ課までご連絡ください。

地域の課題やアイデアが共有される初期の段階からでも、ご相談ください。



● お問い合わせ先 ●

流山市役所市民生活部コミュニティ課

電話 04-7150-6076 (直通)

FAX 04-7159-0954

メール komyuniti@city.nagareyama.chiba.jp